

# 日独歴史家会議プログラム

“Reform” und “Restauration”.

Politischer und sozio-  
kultureller Wandel in Japan und  
Preussen

— 日本とドイツにおける政治的・社会的・文化的変容 —

# 明治維新と プロイセン改革

2009年9月18日(金)・19日(土) 東京大学駒場キャンパス I 18号館ホール 日独同時通訳付

● 9月18日 13:00—18:00

- A ご挨拶
- B 基調講演 Heinz Duchardt(マインツ・ヨーロッパ史研究所) | 啓蒙・革命・戦争 ヨーロッパの時代の潮流としての革命
- C 第1セッション: 日本とヨーロッパで変容はどのように認識されたか  
Barbara Stollberg-Rilinger(ミュンスター大学) | 伝統主義と合理主義: 1800年前後の改革をめぐる二つの道  
Harald Kleinschmidt(筑波大学) | ヨーロッパにおける文化の伝統性と伝統の文化性  
Reinhard Zöllner(ボン大学) | 日本における文化の伝統性と伝統の文化性

● 9月19日 9:00—18:00

- A 第2セッション: 19世紀初頭のプロイセン改革 (9:00—12:45)  
Paul Nolte(ベルリン自由大学) | 内からの視点 プロイセン改革における連続性と変革に関する考察  
山崎彰(山形大学) | プロイセン改革をめぐる日本の研究状況を振り返って  
Walter Reese-Schaefer(ゲッティンゲン大学) | 理念を巡る改革派の政治
- B 第3セッション: 明治維新 (13:15—17:00)  
三谷博(東京大学) | 明治維新の史学史的考察  
Michael Wachutka(チュービンゲン大学) | 明治初期の宗教改革・教育政策における復古と革新  
龍井一博(国際日本文化研究センター) | 伊藤博文は日本のビスマルクか?  
波多野澄雄(筑波大学) | コメント
- C 全体討論 (17:00—18:00)

主催: 東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK) / マインツ・ヨーロッパ史研究所(IEG)

後援: ドイツ学術振興協会(DFG)



東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 102号館2階

TEL/FAX: 03-5454-6112 E-mail: desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/